

令和6年度

# 私立学校若手教員全国研修会・私立学校中堅教員研修会(東日本・神奈川会場) 実施報告

実施：一般財団法人日本私学教育研究所 / 後援：日本私立中学高等学校連合会

## 研修テーマ 生成 AI 時代の私学教育～私学が大切にすべき教育とは？～

生成 AI や ICT 機器の普及が教育現場に様々な影響を与える中、私学が重要視する「こころの教育」や、建学の精神に基づく学びを今一度見つめ直す必要があるのではないか——こうした考えのもと、本研修会では、生成 AI の活用が前提となるこれからの社会で、全人教育を標榜する「私学」だからこそ実現できる学びとは何か、彩り豊かな講演、講義・ワークショップ、懇談会などを通じて考察する機会とした。

**会 期** 令和6年9月20日(金)～9月21日(土)

**会 場** ビジョンセンター横浜(西口)(神奈川県横浜市)

**参加人数** 若手教員 22 名 / 中堅教員 48 名

**参加対象** 都道府県私学協会に加盟する全国の私立中学校・高等学校・中等教育学校に在籍する教員で、過年度初任者研修地区研修会ならびに若手教員全国研修会に参加した経験年数 5～10 年程度の若手教員、経験年数 10～20 年程度の中堅教員(学校長の推薦する者)

### 日程細目

【1日目】 9月20日(金)

9:30	受付(会場:2階 201内)	
10:00	開会式(30分) 【司会】川本芳久・一般財団法人日本私学教育研究所理事・事務局長	
	1. 開会	
	2. 主催者挨拶	平方邦行・一般財団法人日本私学教育研究所所長
	3. 所長メッセージ	平方邦行・一般財団法人日本私学教育研究所所長
10:30	4. 閉式	
10:30	若手・中堅合同	
	研修1 講演(60分)	
	【司会】土屋登美恵・駒沢学園女子中学高等学校校長	
	演題:私学人としての使命～ぬくもり伝えて46年～	
	講師:工藤誠一・聖光学院中学校・高等学校 理事長・校長(一般財団法人神奈川県私立中学高等学校協会理事長)	
11:30		
11:30	休憩・昼食(60分)	
12:30	若手・中堅合同	
	研修2 講演(75分)	
	【司会】竹鼻志乃・豊島岡女子学園中学高等学校校長	
	演題:生成 AI と向き合う学校教育	
	講師:広石英記・東京電機大学 副学長	
13:45		
13:45	休憩(15分)	休憩(15分)
14:00	若手	中堅
	研修3 講義・ワークショップ(165分) 会場 4階405	研修3 講義・ワークショップ(165分) 会場 3階307
	【司会】伊藤佳貴・大同大学大同高等学校校長補佐	【司会】安田誠・箕面自由学園中学校教諭
	演題:生成 AI 時代に求められる力を探る —若手教員に必要な思考力とは?—	演題:生成 AI 時代に求められる学びのあり方
	講師:伊藤貴昭・明治大学文学部 教授	講師:泰山裕・中京大学教養教育研究院 教授
16:45		
16:45	休憩(15分)	

17:00	若手・中堅合同
	教育懇談会(90分) 会場 2階 201
	【司会】安田誠・箕面自由学園中学校教諭
	1. 開宴 2. 乾杯挨拶 新田光太郎・私立学校初任者研修等事業検討委員／筑陽学園中学高等学校理事長・校長 3. 歓談 4. 閉宴
18:30	
18:30	解散

【2日目】9月21日(土)

9:30	若手	中堅
	研修4 講義・ワークショップ(165分) 会場 4階405	研修3 講義・ワークショップ(165分) 会場 3階307
	【司会】伊藤佳貴・大同大学大同高等学校校長補佐 演題:生成 AI 時代に必要な ソーシャル・エモーショナル・ラーニング ー子どもたちの社会情動スキルをどう育てるか?ー 講師:渡辺弥生・法政大学文学部心理学科 教授	【司会】安田誠・箕面自由学園中学校教諭 演題:私学ならではの探究のグランドデザイン 講師:広石英記・東京電機大学 副学長
12:15		
12:15	休憩・昼食(60分)	
13:15	若手・中堅合同	
	研修5 講義・ワークショップ(135分) 会場 2階201	
	【司会】土屋登美恵・駒沢学園女子中学高等学校校長 演題:生成 AI 時代の私学教育～私学が大切にすべき教育とは?～ 講師:広石英記・東京電機大学 副学長	
15:30		
15:30	休憩・アンケート記入	
15:45	閉会式(15分) 【司会】竹鼻志乃・豊島岡女子学園中学高等学校校長	
	1. 開式 2. 講評 菅沼宏比古・私立学校初任者研修等事業検討委員／学校法人西海学園理事長 3. 修了証授与 4. 閉会	
15:45		
16:00	解散	

私立学校初任者研修等事業検討委員

菅沼 宏比古 学校法人西海学園理事長  
新田 光太郎 筑陽学園中学高等学校理事長・校長

私立学校〔若手教員研修・中堅教員研修〕運営委員

竹 鼻 志 乃 豊島岡女子学園中学高等学校校長  
土 屋 登美恵 駒沢学園女子中学高等学校校長  
伊 藤 佳 貴 大同大学大同高等学校校長補佐  
安 田 誠 箕面自由学園中学校教諭

都道府県別参加人数

【若手】22名(14都道府県)

都道府県	参加人数	都道府県	参加人数	都道府県	参加人数
北海道	1	石川	0	岡山	0
青森	0	福井	0	広島	1
岩手	0	山梨	0	山口	0
宮城	1	長野	0	徳島	0
秋田	1	岐阜	1	香川	0
山形	0	静岡	1	愛媛	0
福島	0	愛知	1	高知	0
新潟	0	三重	0	福岡	2
茨城	1	滋賀	0	佐賀	0
栃木	0	京都	0	長崎	0
群馬	1	大阪	1	熊本	0
埼玉	3	兵庫	0	大分	0
千葉	4	奈良	0	宮崎	0
神奈川	1	和歌山	0	鹿児島	0
東京	5	鳥取	0	沖縄	0
富山	0	島根	0	合計	22

【中堅】48名(22都道府県)

都道府県	参加人数	都道府県	参加人数	都道府県	参加人数
北海道	1	石川	1	岡山	0
青森	1	福井	0	広島	0
岩手	0	山梨	0	山口	0
宮城	1	長野	0	徳島	0
秋田	1	岐阜	1	香川	0
山形	1	静岡	3	愛媛	0
福島	2	愛知	3	高知	0
新潟	3	三重	0	福岡	2
茨城	2	滋賀	0	佐賀	0
栃木	2	京都	0	長崎	0
群馬	0	大阪	0	熊本	1
埼玉	1	兵庫	0	大分	3
千葉	0	奈良	0	宮崎	0
神奈川	6	和歌山	0	鹿児島	2
東京	7	鳥取	0	沖縄	0
富山	0	島根	1	合計	48

【1日目】 9月20日(金)

【開会式】

開会に際し、主催者を代表して平方所長より挨拶があり、続けて所長メッセージとして、「昨今の猛暑や豪雨などの自然災害を受け、地球環境の変化とその影響を考えることが重要だ。生成 AI の登場で教育は新たな局面を迎え、次期学習指導要領においても、学校教育のパートナーとして共存が求められている。学校教育では、大規模なカリキュラム改革が進行中であり、22 世紀型教育、すなわち World Making Wisdom を意識していく必要がある。生成 AI のエネルギー消費量は膨大であり、気候変動に影響を及ぼす可能性も無視できない。政府の掲げる『ムーンショット目標』の10項目目には、化石燃料や原子力発電に代わる『フュージョンエネルギーの多面的な活用』が掲げられている。未来社会の設計には教師・保護者・生徒の積極的な参加が期待され、生成 AI、Society5.0、次期学習指導要領の 3 つは切り離せない課題である。この視点を持って今後の私学教育の発展に貢献されることを祈念する」と述べた。



【研修1】講演「私学人としての使命～ぬくもり伝えて 46年～」／

工藤誠一・聖光学院中学校・高等学校 理事長・校長(神奈川県私立中学高等学校協会理事長)

工藤講師は、私学教員の特質を「個性豊かである」とし、それ故に私学は特色ある教育ができるとした。さらに政治と教育について、未履修問題や世界人権宣言、私立学校振興助成法など多角的な視点で取り上げ、神奈川県私立中学高等学校協会理事長として取り組んできた活動を紹介した。その中で、教育活動を進める上で政治との密接な関わりがいかに重要であるかを強調した。

講演の最後に、某小学生と担任教師との物語を紹介し、どのような時代においても、教員の役割は「ぬくもりを伝えることである」と述べ、参加者に対し、そうした教員であり続けてほしいと激励した。



【研修2】講演「生成 AI と向き合う学校教育」／広石英記・東京電機大学 副学長

広石講師は、冒頭で生成 AI について「与えられたデータを学習し、新しいコンテンツを自動的に生成する技術である」と説明し、クリエイティブな作業の効率化と自動化によって人間の作業をサポートできる利点を挙げる一方、生成されるコンテンツの品質や信頼性を確保する難しさや、不適切な内容が生成されるリスクといった課題を指摘した。その上で、生成 AI を教育で活用する場合の利点と欠点を整理し、私学教育の根幹が全人的教育と人間性の育成であり、これを育む実体験は生成 AI では代替できないと強調した。また、私学らしい教育は、時代と学校の実情に応じて常に更新していく不断の営みであると述べた。



【若手・研修3】講義・ワークショップ:「生成 AI 時代に求められる力を探るー若手教員に必要な思考力とは?ー」／

伊藤貴昭・明治大学文学部教授

伊藤講師は、生成 AI 時代に必要とされる力を考える上で、生成 AI を使いこなすために求められる能力や、また生成 AI の普及により業務が代替されると、どのような力が使われなくなるのか参加者に問いかけた。生成 AI の発達により思考力の劣化が懸念されるとして、「自ら問う力」の重要性を強調した。問いを通して思考を深める手法の理解と実践を主眼に、疑問生成ツールを用いたワークショップや「哲学対話」を取り入れたワークショップも実施された。こうした問いのスキルが生徒の探究学習や思考力の発展につながることを示し、教育現場での実践を促した。



【中堅・研修3】講義・ワークショップ:「生成 AI 時代に求められる学びのあり方」／

泰山裕・中京大学教養教育研究院教授

泰山講師は、クラウドサービス Slido を用いて、参加者との双方向の質疑応答や投票機能を織り交ぜながら講義を展開した。生成 AI にできることを確認した上で、PISA 調査の結果などから、日本の課題として、探究とICT教育の現状、自律学習の自信が挙げられるとし、今後、生成 AI 時代に求められる力として問題発見力、的確な予測、革新性などを示した。自律的に探究できる子どもを育てるため、授業のあり方を意識的に変えていく重要性を強調した。また、子どもたちに身につけてほしい「思考力」について、思考ツールを用いて解説し、学習の主導権を徐々に子どもに渡していくことが大切であるとした。





## 【教育懇談会】

教育懇談会では、新田光太郎・私立学校初任者研修等事業検討委員より乾杯の挨拶があり、参加者はグループ毎に交流を深めた。後半は参加者より研修初日の感想が全体に共有され、翌日の研修に向けて盛況のうちに初日のプログラムを終了した。



## 【2日目】 9月21日(土)

### 【若手・研修4】講義・ワークショップ:「生成 AI 時代に必要なソーシャル・エモーショナル・ラーニング - 子どもたちの社会情動スキルをどう育てるか? -」

渡辺弥生・法政大学文学部心理学科 教授

渡辺講師は、生成 AI の普及に伴い、子どもたちがいかに社会情動スキルを身につけるべきか問い、AI 時代における感情の管理や対人スキルの重要性を強調した。OECD の「Education2030」フレームワークを紹介し、子どもたちに必要な能力として、新たな価値想像力や対立への対処スキルなどを例示した。また、感情リテラシーや非認知能力の発達が学業や社会生活にポジティブな影響をもたらすエビデンスも紹介した。さらに、感情表現のスキルや思考力向上のため、声や表情を通して感情を読み取る練習や、カードを使った感情リテラシー強化のワークショップを行い、また、教室の雰囲気子ども成長に与える影響についても触れ、環境改善の具体策として「感情の見える化」を推奨した。



### 【中堅・研修4】 講義・ワークショップ:「私学ならではの探究のグランドデザイン」/ 広石英記・東京電機大学 副学長

広石講師は、「私学らしい探究学習の構想」をテーマに、私学教育の基盤として「目指すべき理念(建学の精神)を共有し、それを具体化する個性的な教育を展開してこそ私学教育は輝く」と述べ、建学の精神や教育目標に基づく教育の重要性を強調した。参加者は、ワークショップを通じて「スクールポリシー」や「グランドルーブリック」の具体的な設定方法を学び、私学ならではの個性ある教育目標を実現するためのデザイン方法を探った。また、地域のリソースや課題を活かした探究プロジェクトの構想を行い、各学校が育成を目指す資質・能力(GP)に基づいたプロジェクトを構築する重要性を説いた。さらに、カリキュラム全体で一貫性を持たせるため、ルーブリックの活用による教育評価や目標の「見える化」の重要性を強調した。



### 【若手・中堅合同・研修5】 講義・ワークショップ:「生成 AI 時代の私学教育～私学が大切にすべき教育とは?～」

広石英記・東京電機大学 副学長

2日間の両研修会のまとめとして、広石講師のファシリテーションによりワークショップが行われた。主題は、生成 AI 時代における私学ならではの教育の在り方と、それを具体化するための「建学の精神」及び「スクールポリシー(SP/GP)」の活用で、参加者は、私学特有の教育理念に基づいた全人教育の重要性を再認識し、個性的な教育目標を具現化するための私学の建学の精神を反映した「グランドルーブリック」の作成方法を学んだ。さらに、教育目標の具体化とカリキュラム設計に一貫性を確保するための手法が解説され、ルーブリックを活用した教育方針共有の重要性を強調した。



## 【閉会式】

研修会の講評として、菅沼宏比古・私立学校初任者研修等事業検討委員は、生成 AI の活用や注意点を学んだ今回の研修を通じ、私学教育の根幹である建学の精神を中心に、生徒一人一人の個性を大切に教育の重要性を再認識するよう述べた。創立者の志と精神的成長を大切にし、将来社会で柔軟に対応できる人材の育成が私学教員の使命であり、私学における実践の即応性を活かして学校の強みを築き、子どもたちの成長に貢献してほしいと呼びかけた。



## 参加者アンケートより

【若手】回答者 22名/参加者 22名 (回答率 100%) 【中堅】回答者 46名/参加者 48名 (回答率95.8%)

若手・中堅合同 研修1「私学人としての使命～ぬくもり伝えて46年～」/工藤誠一・聖光学院中学校・高等学校 理事長・校長

○私立学校が果たすべき社会的意義が理解できた。(若手)

○人間として、教員としての温かみを忘れてはならないと感じた。(中堅)

若手・中堅合同 研修2「生成AIと向き合う学校教育」/広石英記・東京電機大学 副学長

○生成AIを今後どのように使っていくべきか理解できた。(若手・西)

○生成AIの利点と課題を整理することができ、適切に活用しつつも心の育成が重要であると感じた。(中堅)

若手 研修3「生成AI時代に求められる力を探る～若手教員に必要な思考力とは?～」/伊藤貴昭・明治大学文学部教授

○すぐにでも活用できる「疑問の持ち方」が大変勉強になった。(若手)

○考え方を覚えてもらえるプログラムだった。「自ら問うこと」に意識的になっていきたい。(若手)

中堅 研修3「生成AI時代に求められる学びのあり方」/泰山裕・中京大学教養教育研究院教授

○これからの学びを根本から見直すきっかけになった。(中堅)

○インタラクティブな授業はこのように実践するのかと気づき、学ぶことが多かった。(中堅)

若手 研修4「生成AI時代に必要なソーシャル・エモーショナル・ラーニング

～子どもたちの社会情動スキルをどう育てるか?～」/渡辺弥生・法政大学文学部心理学科 教授

○感情を理解する上で語彙の大切さも改めて痛感し、生徒と共有したいと思った。(若手)

○自分が最も難しいと感じている課題について、向き合い方を教えてもらった。(若手)

中堅 研修4「私学ならではの探究のグランドデザイン」/広石英記・東京電機大学 副学長

○資料にない内容の中にも大切な言葉や考え方がちりばめられており、もっと広石先生の講義を聴きたいと感じた。(中堅)

○管理職の先生方も絶対に聴いた方がよいと思った。(中堅)

若手・中堅合同 研修5「生成AI時代の私学教育～私学が大切にすべき教育とは?～」/広石英記・東京電機大学 副学長

○他校の中堅の先生と協働作業しながら、建学の精神を柱とする学校活動とその評価について詳しく学ぶことができた。(若手)

○ワークショップを通して、本校の抱えている課題の活路を見出すことができ、大変有意義な研修だった。(中堅)

---

次年度（令和7年度）私立学校若手教員全国研修会・中堅教員研修会は、以下の要領で開催いたします。

【西日本・愛知会場】 令和7年 9月19日（金）・20日（土） プライムセントラルタワー名古屋駅前店

【南日本・福岡会場】 令和7年 11月21日（金）・22日（土） 福岡ガーデンパレス

---

2025.2 一般財団法人日本私学教育研究所